



文と萩物語

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の  
市内ロケ、8月からいよいよスタート



杉文 (すぎふみ)

松陰の妹 久坂玄瑞に嫁ぎ後に楯取素彦と再婚



吉田松陰 (よしだしょういん)

松下村塾で維新の志士を多く育てた



杉家旧宅



久坂玄瑞 (くさかげんずい)

尊王攘夷に命をかける 禁門の変で自刃



楯取能彦氏提供

楯取素彦 (かとりもとひこ)

松陰の死後、松下村塾を託される 後の群馬県令



萩市  
HAGI

# 議会だより

No. 33  
2014.7.15

編集  
議会だより編集委員会

発行  
萩市議会  
〒758-8555 萩市江向510  
TEL0838-25-3144

6月  
定例会

議長あいさつ	2
議会構成が決まりました	3~5
一般質問	6~11
常任委員会報告	12~13
議会の構成・運営に関する研究会を設置	15

# 平成26年度の議会構成決まる

## 多様化する負託に応え 議会活動の活発化を目指して



議長 横山 秀二

### 議長あいさつ

四月の萩市議会選挙において市民の皆様からの信任を得ました二十六人による新たな萩市議会がスタートいたしました。

改選後初の五月臨時会におきまして議会構成も決まり、議長という大役を仰せつかり、改めてその責任の重さを痛感する次第であります。

議会運営に当たっては、公平・公正・公明化をもって、執行部や市民の皆様方のお力添えをいただきながら萩市の発展と市民福祉の増進に、誠心誠意努力をいたす覚悟であります。

ご承知のとおり、萩市を取り巻く情勢は、依然厳しいものがあり、昨年の萩市東部での豪雨災害の復興・復興をはじめ少子高齢化対策

等々、克服すべき多くの課題に直面し、改めて市民の皆様の期待の大きさを感じております。

併せて、市町村合併十周年の節目となります来年にむけて、変革への対応と行動する姿勢を新たに

する必要性を思い至っております。議会といたしましても、市民本位の立場から、個性豊かで活力ある地域社会の構築を図るため、市内各地域のそれぞれの特性を活かしながら、福祉・教育の充実や経済振興、過疎対策、安心安全なまちづくり、道路交通網の整備など市民生活に不可欠な施策を重要課題と位置づけ総合的に取り組んでまいります。

また、議会改革の一環として、議会運営の活発化に期することを目的とした「議会の構成・運営に関する研究会」をこのたび任意の議長諮問機関として設置いたし、目下、二つの分科会においてスピード感を持って熱心な研究が進められております。

一方、萩市では、今年から来年にかけて萩市経済の起爆剤たる話題が目白押しとなります。NHK

大河ドラマの「花燃ゆ」のロケ・放映、萩反射炉等を含むユネスコの世界文化遺産の登録とともに明治維新百五十年に向けた取り組みなど、観光事業の発展に大きく貢献するものと期待され、議会においても観光戦略に対し積極的に取り組んでまいります。

市民の皆様には、萩市のさらなる発展のため議会に対しましてご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 小林 正史



監査委員 西島 孝一

# 委員会の顔ぶれ

5月7日臨時会が開かれ、委員会の構成が決まりました。任期は26年5月7日～27年5月6日。特別委員会の任期は調査終了の議決をするまでです。

## 常任委員会

### 総務委員会

委員長	関	伸	久
副委員長	森田	哲	弘
委員	小林	正	史
	斉藤	眞	治
	佐々木	武	夫
	波多野		勝
	美原	喜	大
	宮内	欣	二
	諸岡	皓	二

## 常任委員会

### 教育民生委員会

委員長	松尾	義	人
副委員長	石飛	孝	道
委員	五十嵐	仁	美
	大久		勲
	大村	赳	夫
	佐々木	公	惠
	平田	啓	一
	椋	晶	雄
	横山	秀	二

## 常任委員会

### 経済建設委員会

委員長	長岡	肇	太郎
副委員長	西中		忍
委員	小池	太	一
	柴田	保	央
	中野		伸
	西島	孝	一
	松浦	俊	生
	守永	忠	世

### 議会運営委員会

委員長	平田	啓	一
副委員長	椋	晶	雄
委員	小池	太	一
	柴田	保	央
	西島	孝	一
	西中		忍
	松尾	義	人
	波多野		勝

### 主要道路整備促進調査特別委員会

委員長	斉藤	眞	治
副委員長	佐々木	公	惠
委員	石飛	孝	道
	小池	太	一
	関	伸	久
	松浦	俊	生
	森田	哲	弘
	守永	忠	世

### 産廃処分場建設問題調査特別委員会

委員長	諸岡	皓	二
副委員長	佐々木	武	夫
委員	大久		勲
	柴田	保	央
	中西		伸
	西原	喜	忍
	美宮	欣	大
			二



# 新しい顔ぶれ

## 新友会



代表  
平田 啓一  
(4期)



大久 勲  
(1期)



小池 太一  
(1期)



長岡 肇太郎  
(3期)

## 公明党



佐々木 武夫  
(2期)



佐々木 公恵  
(1期)



波多野 勝  
(2期)



美原 喜大  
(1期)

## 新志政和会



代表  
西島 孝一  
(4期)



石飛 孝道  
(1期)



小林 正史  
(4期)



柴田 保央  
(4期)



横山 秀二  
(4期)

よろしくお願ひします



# 萩市議会議員

過疎問題を考える会



代表  
荒井 晶雄  
(2期)



関 伸久  
(2期)



西 中 忍  
(2期)



森田 哲弘  
(1期)



無所属  
大村 越夫  
(3期)



無所属  
松浦 俊生  
(1期)

日本共産党



宮内 欣二  
(4期)



五十嵐 仁美  
(1期)



無所属  
守永 忠世  
(3期)



無所属  
諸岡 皓二  
(4期)

新生会



代表  
松尾 義人  
(3期)



斉藤 眞治  
(4期)



中野 伸  
(3期)

萩市のために頑張ります

# 一般質問

6月16日から18日まで18人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



久坂玄瑞の銅像建立  
計画について

大村 赴夫  
(無所属)

【問】久坂玄瑞の銅像が、中央公園の一隅に建立されるようです。八軒家で生まれ18才で文さんと結婚され、22才の時に禁門の変で落命された憧れと尊敬を集める幕末動乱期の人傑です。銅像を建て、その志を語りつぐことは我ら萩市民にとって誇らしいことです。中央公園には、すでに山県有朋公の騎馬像があり、佐々木翁の胸像も設置されています。寄贈された長嶺氏の母子像もあります。ゆくゆくは中央公園が銅像などの集積地として、観光資源化されるのでしょうか。つまり、まちじゅう博物館構想そのもののモデルエンジンと考えていいのでしょうか。

【答】銅像の建立場所については、銅像建立委員会でいろいろ議論されました。本来は平安古の生誕地が望ましいのですが、そこには顕彰碑もあり大変狭く、銅像を建てることは困難です。久坂玄瑞と並び松下村塾の双壁と言われた高杉晋作像がある晋作広場に近く、また、見に来られる方の便宜なども総合的に考えて、中央公園の平安古・城下町側に建立されることになりました。まちじゅう博物館構想を更にするものではありません。

## 《他の質問項目》

- ・消費増税後の萩市の市況について
- ・文化財施設の入館料について



新小川コミュニティセンターの安全性と住居への道・橋の復旧優先度は

宮内 欣二  
(日本共産党)

【問】被災した小川コミュニティセンター復旧の用地造成をしています。ここは豪雨で冠水したところですが、再び洗われる恐れはありませんか。建物の位置が一番川に近いところになっていますが、離れた位置にできなかったのですか。嵩上げによって対岸の水田などへの影響はありませんか。それらについて地元の人たちと十分協議していますか。

住居につづく道・橋を優先復旧すべきですが、鈴野川など住民が少ないところが遅れているのはなぜですか。

【答】小川コミュニティセンターの建替は、中小川地区での建設要望が多く、河川水衝部でなく、安全で利用しやすく早期に着工できる用地を選定し、被災していない高さまで嵩上げて建設することとしました。地権者や地区関係者等への説明でも、位置について意見はありませんでした。道・橋の復旧は、迂回をお願いしている所があります。1日も早い復旧を目指し、施工者にも努力をいただいています。工事量も多く、ご迷惑をかけますがご理解ください。



被災した橋

## 《他の質問項目》

- ・地域医療の推進について
- ・環境衛生行政について
- ・ジオパークの登録推進について



これからの水産業の  
取り組みと藻場保全  
について

石飛 孝道  
(新志政和会)

【問】近年続いている漁獲の減少・魚価の低迷・燃料の高騰により、市の主要産業を担う水産業を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。これからの漁業を営むうえで、藻場の保全そして限りある水産資源を確保し、有効に活用できる新たな漁業構造を構築することによって、経営改善を図ることが重要課題と思います。これまで資源確保の一環として稚魚の放流や魚価の低迷打開を図るために、萩ブランドの魚を用いたイベントや販路の拡大を目的とした色々な取り組みが行われていますが、今後の施策についてお尋ねします。

【答】萩市の漁業資源対策としては、見島・八里ヶ瀬等での他県の大型まき網漁業の規制強化や栽培漁業の推進、藻場保全等に取り組んでいます。魚価対策としては、県下に先駆け萩の魚のブランド化を推進しています。特に、萩のあまだいは、日本一の漁獲があり、品質も良く、築地市場で高く評価されています。今後も漁協等関係団体と連携して萩の魚のPR、販路拡大に努めると共に、観光客に萩市に来ていただき萩の魚を食べていただく取り組みを進めていきます。



稚魚の放流



**世界遺産の取り組み  
について  
(市民の意識啓発を)**

小池 太一  
(新友会)

【問】平成27年の世界遺産登録を目指して、市では行政・市民が一体となって取り組んでいます。観光振興の起爆剤として登録実現に向けて、私も微力ながらお手伝いをさせて頂こうと思います。高齢者が多くタウンミーティングの会場まで行くことができない方もいますので、意識啓発を目的に世界遺産を取り囲む「バッファゾーン(緩衝地帯)」に生活する住民を対象にした「世界遺産ミーティング」を開き、市長が直接説明することはできませんか。あわせて「恵美須ヶ鼻造船所跡」の消波ブロックに、かなりのゴミが漂着しますが、景観と環境の為に撤去できませんか。

【答】タウンミーティングに限らず、世界遺産の説明については地元の皆さんからの要請があれば、担当部長・課長が向き説明を行います。また、恵美須ヶ鼻造船所跡の防波堤横にある消波ブロックについては、管理者である県に確認したところ、漁港内の安全性の点から撤去できないとの回答でした。ただし、景観の観点からは再考の余地がありますので、今後も専門家など多くの皆さんの意見を聞きながら対応を考えていきたいと思います。

※バッファゾーン(緩衝地帯)：登録資産を保護するために、その周囲に設けられた利用制限区域で推薦に際しては十分な緩衝地帯が必要です。

《その他の質問項目》  
・明治維新150年記念事業について



**民間事業者への支援  
対策について**

中野 伸  
(新生会)

【問】現在、ガソリン価格は、4月の消費税増税分を加え、ウクライナ情勢等の影響で、原油価格が高値で推移していることから、全国平均小売価格は165円/Lを突破し、萩市でも同様な価格で推移しています。

多くの観光客が車やバスで訪れる萩市の観光産業をはじめとする民間事業者や萩地域に通勤や買物などされる方々、漁船や農機具等燃料負担が大きい一次産業に従事している皆さんは、これ以上ガソリンの高騰が続くことに危機感をもたれています。そこで、市として民間事業者への支援策は考えられないか市長の所見を伺います。

【答】燃料高騰により、中小企業だけでなく農業・漁業者も影響を受けており、その負担も大きいものがありますが、国においても様々な施策を展開して支援しています。

萩市が行う民間事業者に対する支援としては、萩市中小企業長期経営安定資金融資保証制度による低利融資制度など、できることは限定されますが、国の6次産業化の取り組みに対する補助制度等も含めて考えていきたいと思います。

《その他の質問項目》  
・少子化対策  
・経済活性化対策  
・道路行政



**田万川上組地区の2  
橋の落橋をどう取り  
組むか。**

美原 喜大  
(新友会)

【問】田万川上組地区に菅蓋橋と萩原橋があります。今回の災害で2橋共流されました。災害復旧では申請がされてなく、その理由は市道台帳・農道台帳にも記載されていないからと聞きました。しかし2戸が生活道としているし、3戸が農道として利用もしています。地元は2橋を1橋にしても良いから何とか復旧をと懇願していますが、今後、どう取り組みますか。

【答】この2橋は、私橋として位置づけられ、災害の補助対象にはなりません。橋の架け替えは、2億円以上の単独事業となり、地元負担を求めることも難しいため、上流の吉ヶ原橋を約200m下流に架け替え、3橋を1つの橋にすることで理解を求めたいと考えています。新しく架け替える橋は2車線とし、また河川と並走する林道も必要に応じて改良するなど、利便性を高めていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。



復旧が難しい橋

《その他の質問項目》  
・観光客の誘導について





西中 忍  
(過疎問題を考える会)

児童・生徒数が減少  
する中、市内小・中  
学校の今後は

【問】人口減少より速いスピードで少子化が進む中福栄地域で福川・紫福両小学校を統合し、福井地区に新たな小学校を新築するという案を示し、紫福地区で地元説明会が開催されたと新聞報道で知りました。小学校の統合は大変デリケートな問題ですので保護者だけではなく地域住民の意見も十分聞き、進めていかなければならない課題だと思います。しかし今回は、地元住民から「寝耳に水だった」というような感想が出るような状況で、地元説明会が開催されています。

そこで、今回示した統合案をどのような経緯で作成され、どのような手順を踏んで地元説明会を開催されたのかお尋ねします。更に、市教委として統合を進めるといふ考えがあるとするれば、どのような基準を持っているのかお尋ねします。

【答】昨年8月、福川・紫福両小学校の保護者から両校の統合を求める要望書の提出がありました。この要望を受け、福栄地域小学校統合検討委員会を設置し、検討いただいた結果、本年3月、両校を平成28年4月に統合するとの結論に至りました。この結果を踏まえ、本年4月に福川・紫福両地区で住民説明会を開催しました。

また、学校統合を教育委員会が主導し推進するス  
タンスには立っていませんので、特に統合にかかる  
基準は設けていません。

《他の質問項目》

・人口減少問題を解決する取り組みについて



斉藤 眞治  
(新生会)

椿東保育園統合に伴う  
跡地利用について

【問】平成27年3月を目途に新保育園が建設され、椿東保育園と新川保育園が統合されます。そこで、次の点についてお尋ねします。

(1)跡地利用計画の協議開始時期、メンバーは、どのように考えていますか。

(2)現椿東保育園に隣接する住民が提出された「椿東保育園移転に伴う、進入路及び緊急避難道の整備に関する要望書」に対して、どう受け止められ、どう対処されるのですか。また、要望書を提出された住民との協議は、どのように考えていますか。

(3)跡地に椿東地域防災センター(仮称)を新設され地区公会堂・地域コミュニケーションセンターとして活用し、町内会に管理を委託することは、考えられますか。また、椿東第2投票所として利用できますか、いかがですか。

【答】(1)公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、7月以降に全庁的な取り組み体制により、現椿東保育園の跡地利用計画の方針を検討していきます。

(2)要望箇所の土地の売買については対応可能ですが今後、利用計画の方針を決定次第、地元関係者の意見をお聞きしたいと思います。

(3)公共施設の全体のあり方を検討する中で考えていきたいと思えます。投票所としての利用も跡地利用計画の方針決定を受けて検討していきます。

《他の質問項目》

・萩市将来展望の改訂版について



諸岡 皓二  
(無所属)

あの狐島(萩女子短  
大跡地)を福祉施設  
として活用しては

【問】団塊の世代が75才を迎える10年後の福祉施設は、万全ですか。現在、特別養護老人ホームへの待機者は516人。更に在宅の要介護4以上の重度者が84人います。この様な現状と将来を考えると「終の住処を萩」と唱える市長の方針に添うものなのか疑問です。

施設が不足しているのであれば、市にはNHK「プロフェッショナル」で取り上げられ、県内で2施設を独自の指導方法で運営されるなど、全国的に活躍されている福祉のプロがあられますので、萩女子短大跡地を市で購入し、福祉施設として活用すれば市民は安心しますし、雇用促進にもつながり、少子高齢化対策にもなりますが、いかがですか。

【答】平成28年あたりには75歳以上人口の絶対数がピークとなり、その状態が続くため、あらゆる取り組みを行っていきます。

平成25年度には、老人ホーム等の施設が整備され合わせて100床前後が確保されました。市内の特別養護老人ホームの状況は、県内でも最高クラスの水準となっており、都市部に比べると、それほど待つことなく入所されています。

狐島は、福祉施設として処分・売却するという考えは無いと聞いています。

《他の質問項目》

・2040年に萩市は存在しているのか  
・防災管理体制について



関 伸久  
(過疎問題を考える会)

人口減少対策に若年層むけに宅地造成と給食の無料化を

【問】日本創成会議の「消滅可能性都市リスト」の衝撃が大きい。今後30年で20〜39歳の若年女性がこの萩市で約66%も減少すると推計されています。人口減少は事実続いており、抜本的な対策が必要ですがその対策に土地単価の安い周辺部で若年層むけに宅地造成ができませんか。働く場は隣接他市、しかし住まう場所は萩市として須佐・田万川地域、佐々並・明木地域、そして三見地区が候補地です。加えて、萩市全児童の給食費を無料にしませんか。約1億円強で無料にできます。萩市は毎期4〜5億円の黒字を計上しており、財源はあります。

【答】それでも財源に懸念があるなら、今後、議員定数が削減されれば、その財源を充当して下さい。第二子、第三子の世帯は優先的に対応し、人口減少対策に本気に取り組みしましょう。

【答】市内の空き家活用に力を入れており、今まで相当数の方が、萩に来られ空き家を利用し生活されています。若い人むけの宅地造成については、具体的な需要がマーケティングで確認できるかが重要です。

旧町村が取り組んできた分譲地の成果などを踏まえ、今からしっかり議論し、成案を得るよう努力していきます。

給食の無料化については、現在、保育や医療費などに多額の単独市費を使っており、その中で優先順位を付けていくことになると思います。

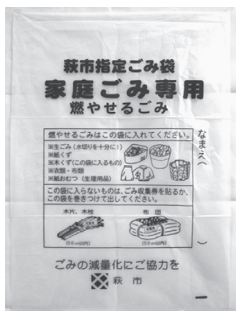


五十嵐 仁美  
(日本共産党)

萩市指定ごみ袋の値下げを求める声に

【問】萩市は、ごみ減量化策として、市独自にごみ袋の無料配布制度を実施し、ごみの減量化、リサイクルが推進されてきました。そして、市と市民が一体となつてごみの排出抑制に努力し、ごみの減量化は成功しています。今、少子高齢化が進み、少人数の世帯が増え、各世帯への無料配布枚数が減り、介護の紙おむつ処理などで、ごみ袋を購入せざるを得ない家庭もあります。そんな皆さんから、ごみ袋料金の値下げを求めるご要望が936筆の署名と共に出されました。この皆さんの声に応える考えはありますか。

【答】市では、指定ごみ袋の無料配布を行い、ごみの減量化を進めています。市民の中には、ごみの減量化に努力している一方、努力しないで大量に出す方がいます。その方には、応分の負担をして頂いています。介護世帯や子育て世帯などいろいろなケースがありますが、この萩市独自の方式により、他市と比較しても、ごみ処理にかかる市民負担は少ないのが現状です。



萩市指定ごみ袋

- 《その他の質問項目》
- ・子ども医療助成制度の市単独事業の実施について
- ・木間地区の救助体制について



佐々木 武夫  
(公明党)

離島における交通手段に、デマンド方式の導入を

【問】見島の方が、宇津から本村までの行き来に不便さを訴えられています。現在は、決まった時間で運行されているスクールバスと船便、そして、月・水曜日に一往復だけ旬おによう萩が運行している無料送迎車を利用しているとのことでした。しかし高齢化が進み島内を自由に移動することができない住民が増えている見島の現状を踏まえ、前もって予約すれば気兼ねなく利用できる「デマンド方式」による交通手段の確保ができないかお尋ねします。

【答】本村、宇津間の移動については、月・水曜日の週2回無料送迎車を運行しています。また、スクールバスも利用することができます。その他にも、移動困難者に対しての外支出援サービスも行っています。交通手段としてデマンド方式を見島で採用できないかということですが、今まで、島内の移動手段を確保してほしいとの要望はあまりありませんでしたが、今後対応について検討していきます。



無料送迎車

- 《その他の質問項目》
- ・情報通信の利活用について
- ・市道の点検・修理について
- ・低炭素化社会に向け明るい町に





消防防災体制の整備  
と消防団員の確保に  
ついて

松浦俊生  
(無所属)

【問】昨年発生した萩市東部豪雨災害で判明したように、現在は予測を超える災害が発生しています。その際に、地域の消防防災を支える中核として、消防団は必要不可欠な組織です。萩市消防団の条例定数は1401人ですが、充足率は約83%と特に旧町村の方面団で不足しています。また、消防団員の有事出動に關し、自営業者と会社員では多少出動条件が違うと思われます。そこで、団員確保と有事出動に有効な消防団協力量業所表示制度の認定状況をお尋ねします。

【答】自然災害や火災への対応に当たる消防の任務はますます重要となり、消防団に対する期待も大きくなっています。消防団員に欠員が生じている中、会社員等の消防団員の割合が増えていきます。現在、42事業所を認定している消防団協力量業所表示制度の活用により、事業所等に対して消防団活動への一層の理解と協力をお願いするなど、地域の消防防災力の充実強化のため消防団員の確保に努めます。



萩市消防団

《他の質問項目》

・中学校の武道必修化について



地域における透析患者の支援について

佐々木公恵  
(公明党)

【問】がん・糖尿病・脳卒中・心臓病・腎疾患などの生活習慣病は、今や健康長寿の阻害因子となっております。特に、腎疾患で人工透析治療を余儀なく受けている患者は年々増加しています。そのため、市内の施設で透析を受ける事が困難となり、市外・県外の施設に紹介され時間をかけて通院している患者が増えています。市内には透析施設が4か所ありますが、市民病院が基軸となり、施設間の連携をとることで、市内の施設で透析を受ける事が出来ないでしょうか。

【答】萩市民病院は公的医療機関ですが、公私で支え合っている医療提供体制についての調整権限はありません。互いに自主的な努力・調整を重ねることが前提です。増加する透析患者を市内の医療機関で受け入れるには、透析装置の台数を増やすことも重要ですが、人工透析に従事する医師や看護師等を確保できないければ、対応に限りがある現状を打破することはできません。引き続き医師をはじめとした医療従事者の確保に努めていきます。



透析ベッド

《他の質問項目》

・男女共同参画の推進について



若者の建設業就労促進対策事業について

守永忠世  
(無所属)

【問】若者の建設業への就労が大幅に減って、高齢化が進み、このまま減り続けると、災害復旧工事などに支障をきたします。そこで山口県監理課建設業班は、建設業者に就労支援の専門家を巡回させ、効果的な求人の出し方を指導したり、アピールの仕方を助言するなど、様々な施策を実施しています。市として、県と共同して取り組む施策等があればお尋ねします。

【答】建設業界における若年就労者の著しい減少については、萩市だけでなく全国的な問題です。国も様々な対応をしています。今年度、県は緊急雇用創出事業を活用して建設業への就労対策を支援します。萩市も同じ事業を活用し建設業だけでなく中小企業全般を対象とした就業促進支援事業を萩商工会議所に委託して実施し、地元雇用の促進に努めていきます。



土木作業現場

《他の質問項目》

・教育行政





災害により発生する  
残土を利用した町づ  
くり計画

森田 哲弘  
(過疎問題を考える会)

【問】災害により発生する河川の残土を利用し、安価な住宅地をすることで若者の定住が見込めれると思  
います。田万川地域から益田市の中心部までは、15  
分〜20分程度の距離です。益田市から田万川地域へ  
の定住者を確保し、現在益田市に住んでいる方のベ  
ットタウンになればと思います。2040年の人口  
予測では、萩市が2万9800人となるデータが出  
ています。益田市より3700人少なくなっています  
。このような考え方から東部地域の将来に向けて  
の町づくりにつながる復旧復興についてお尋ねします。

【答】須佐川の河川改修に伴い住宅の移転を余儀な  
くされる方等の土地の確保については、市の所有す  
る土地を検討しており、埋立は考えていません。し  
た。埋立については、なかなか難しいですが、地権  
者の同意と需要の見込みがあれば対応は可能と考え  
ています。須佐・田万川地域に引き続き居住してい  
ただきたいとい  
う想いは共通で  
あり、具体的  
な戸数や場所など  
今後、詳細に調  
査を行い協議さ  
せていただきた  
いと思います。



災害により発生した残土

《その他の質問項目》  
・山陰自動車道(萩〜益田)の早期開通と産業振興  
について



雨季を控えて災害を防  
ぐ市の対応について

椋 晶雄  
(過疎問題を考える会)

【問】梅雨や台風などの雨季を控えて、災害を受け  
た地域とそうでない地域それぞれの対策が必要です。  
災害を受けた地域では、河川の浚渫・流木などの除  
去、堤防の補修、新しく建設された橋台と古い堤防  
との隙間への対応、災害を受けていない地域では川  
の流れがカーブしている箇所や傾斜の急な崖、山裾  
に家屋がある場所などの安全点検が必要です。

一方市民も自主防災組織などで自衛する必要があ  
ります。市もそのための環境づくりが必要です。防  
災訓練も、より具体的な事態を想定して実施し、更  
に避難場所の確保も一層進めて行かなくてはいいま  
せん。緊急の避難場所は自宅から近いことが必要で  
す。災害の経験を生かし、市民の生命と財産を守る  
べきですが、いかがですか。

【答】河川の流木等障害物の除去、浚渫及び土のう  
設置を市単独事業で実施しました。須佐川の工事中  
の堤防は大雨が予想される場合、工事業者が事前に  
土のうを設置します。危険箇所については、十分な  
見回りと対応を考えています。今後も自主防災組織  
の育成と避難訓練を行っていきますが、昨年の災害  
では隣近所の共助が最も有効でした。また、法改正  
で避難場所の区分も変更されており、見直しを行  
います。避難の際は臨機応変な対応をお願いします。

《その他の質問項目》  
・来年の大河ドラマ「花燃ゆ」の放映、世界遺産へ  
の登録の期待などにより、萩市は来年以降多くの  
観光客を迎えますが、その受け入れ体制について



旧藩校明倫館活用推  
進事業について

大久 勲  
(新友会)

【問】旧明倫小グラウンドを駐車場とする計画です  
が、旧萩商高グラウンドを駐車場にした方が観光客  
を御成り道へ誘客でき、田町商店街から城下町へ続  
く御成り道を伊勢神宮外宮参道のような賑わいある  
町並みに復興させる起爆剤となります。旧萩商高跡  
地は県から譲渡を受ける際、教育施設として利用す  
ることが決められていますが、教育施設と付随する  
駐車場として整備することも可能はずです。旧明  
倫小校舎を生涯学習の場として利用し、付随する駐  
車場として旧萩商高グラウンドを整備すれば、御成  
り道を新たな観光スポットとして開発できます。旧  
明倫小グラウンドが駐車場となる事で外部から松食  
い虫など運ばれてこないか、樹齢数百年の松が守ら  
れるかも心配ですが、いかがですか。

【答】旧明倫小グラウンドを駐車場として活用する  
理由は、1点目に、旧萩商高跡地は、県と教育施設  
として使用する約束があること、2点目に、旧校舎  
付近は藩校明倫館跡地で、将来、遺跡遺産を集約す  
ることも可能であること、3点目に、中央公園付近  
では各種イベントを開催しており、駐車場機能に加  
え、広場的な機能を持たせることにより多目的に活  
用できる利点があるためです。松の木の保存や植栽  
に配慮しながら整備を進めたいと思います。

《その他の質問項目》  
・消滅する自治体、その8%自治体に萩市が含まれて  
いるという報道について  
・海抜表示シート掲示について

# 総務委員会

## 大河ドラマ館関連に2億253万円を計上

～大河ドラマを積極支援～

### 常任委員会の審査の概要をお知らせします

総務委員会には、平成26年度萩市一般会計補正予算(第1号)を含む議案5件が付託され、全員異議なく全て可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

#### ○平成26年度萩市一般会計補正予算(第1号)について

今回の補正予算額は、2億6243万円で、全26事業のうち新規事業は14にのぼり、当初予算編成後の状況の変化に早期に取り組みものです。

問 英語のみの対応の予定です。  
答 英語のみの対応の予定はありません。

問 NHKサイドの負担金はいくらですか。  
答 負担金はありません。

問 大河ドラマ館の入館料は、いくらですか。  
答 大人(高校生以上)500円、子ども200円を予定しています。

問 旧明倫小学校のグラウンドはどう活用しますか。  
答 40万人を努力目標にしています。

「観光おもてなし人材育成事業」について  
問 県の雇用対策事業を活用することですが、何名雇用しますか。  
答 2名を予定しています。  
問 具体的に何をしますか。  
答 世界遺産登録と大河ドラマの放映を見据えた人材育成を行います。  
問 どのような人材を育成しますか。  
答 外国人にも対応できる人材を育成します。  
問 複数言語に対応するのですか。



一部拡幅が予定される市道八丁瓦町線(萩図書館・児童館横)

問 有料の駐車場として整備の予定です。  
問 市民も有料ですか。  
答 中央公園駐車場と同じで、市民は無料です。

「旧萩藩校明倫館活用推進事業」について  
問 萩図書館前の市道八丁瓦町線の一部拡幅するものですが、その内容は。  
答 大河ドラマ館への誘導道路として、国道191号から萩図書館入口付近までを拡幅します。

問 一方通行のままですか。  
答 萩図書館の敷地部分までを双方向とし、それ以降はこれまで通り一方通行です。

問 萩図書館・児童館の駐車場が減ることになりますか。  
答 旧明倫小学校のグラウンドに整備する駐車場に対応する予定です。

「過疎集落等自立再生対策事業」について  
問 具体的にどのような事業

業ですか。

答 総務省の10/10のソフト事業で、田万川地域の買い物支援、江崎の町並み再生、特産品を活用した加工品の開発等を行うものです。

問 地域生活サポーターを2名配置とありますが、どのような方を予定していますか。  
答 地元の方を今のところ予定しています。

○萩市火災予防条例の一部を改正する条例について  
問 この条例改正の背景は。  
答 平成25年8月に京都府福知山市で発生した花火大会会場での火災事故を踏まえて対応するものです。

問 具体的には。  
答 屋外における大規模催しの主催者に対し、防災担当者の選任、火災予防上必要な業務計画の作成等を義務付けるもので、指定催しとなった場合は、消火器の設置を求めるものです。

# 教育民生委員会

## 軽自動車税の税率(円)を改正

教育民生委員会には議案2件と請願1件が付託され、審議の結果、議案2件については原案のとおり可決すべきものと決し、請願については賛成少数で不採択と決しました。

審査の主な様子は、次の通りです。

### ○萩市税条例の一部を改正する条例について

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車等に係る軽自動車税の税率引き上げ、

地方法人税の創設に対応して、法人市民税の法人税割の税率引き下げや、知的・精神障がい者本人が運転する軽自動車などの税率(円)を減免の対象に加える等のため、所要の改正を行なうものです。

問 例えば平成26年に軽自動車を取得した人は、ずっと現行税率でいいのですか。

答 はい。現行税率です。但し、新規取得後、13年経過したものは、翌年度より平成28年度からの新税率となります。

### ○請願第1号「萩市指定ごみ袋料金の値下げについて」

担当課職員の説明後、担当課に対する委員からの質疑を行ないました。

問 1世帯当たりの指定ごみ袋の無料配布分と購入分を合わせた場合の指定ごみ袋の購入単価はどのくらいですか。

答 指定ごみ袋の無料配布枚数を考慮すれば1枚当たりの単価は、平均26円から27円となり、すでに他市並の金額になっています。

### ・紹介議員への質疑

問 署名の際には、ごみ袋の無料配布分の説明をされましたか。

答 無料配布の説明はしていません。しかし、育児や介護の際に出る紙おむつを処理するため、ごみ袋が多く必要になり大変だということがありました。

問 育児や介護の際に出る紙おむつの処理に必要なごみ袋については、別の施策での対応が望ましいのではないですか。

答 確かに別な施策での対応が望ましいと思います。無料配布分のみで足りる方もいますが、育児・介護の

際に出る紙おむつの処理については、別の施策を提案したいと思います。

### ・その他委員からの意見

・国の方針に先駆け、経済的インセンティブを活用した排出抑制を狙いとしごみ処理の有料化の推進  
・排出量に応じた負担の公平化、住民の意識改革に取り組んできたものでゴミの減量化は、実績の数字からみても明らかです。

・ごみ袋の無料配布で不足している市民については1枚50円で購入する超過有料方式は公平な考えです。

など、ごみ袋料金を含めた現在の制度について、肯定的な意見が多数出されました。

採択の結果、賛成少数により不採択と決しました。

# 経済建設委員会

## 市道小原畦田線さらに延伸

～地区住民の利便性向上へ～

経済建設委員会には、議案2件が付託され審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。

審査の主な内容は、次の通りです。

### ○平成26年度萩市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

これは、国の補正予算で措置された経済対策に呼応し、25年3月補正に前倒して計上したため、26年度当初予算を減額するものです。

問 工事の進捗状況はどうですか。

答 すでに工事は発注済みです。早期完了に努力します。

問 供用開始は、いつごろですか。

答 27年3月31日です。

### ○工事請負契約の締結について

これは、建設中の新清掃工場へのアクセス道であると共に、小原地区の生活道路として、22年から整備を続けている市道小原畦田線の今年度の工事請負契約について、請負金額が1億5000万円を超えることから、議会の議決を求めるものです。

問 今回の工事では、これまでであったように追加工事が発生するようなことはありますか。

答 今回の工事箇所は切土工事が少ないため、ないと思います。



# 平成26年度 6月補正予算(第1号)の概要

(単位：千円)

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
第1号	36,456,000	262,436	36,718,436

## 歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【総務費】	◎<新規>コミュニティ助成事業 被災した2地区(須佐地域及び小川地区)の備品等の整備を行いません ・須佐地域ふるさとづくり協議会 2,500千円(拡声器、テーブル等) ・小川地区コミュニティ協議会 2,400千円(テント、テーブル等)	4,900
	◎<新規>過疎集落等自立再生対策事業 「たまがわの暮らし再生・復興プロジェクト」を実施します ・生活支援ネットワーク形成事業(生活サポート2名配置、生活支援実践) ・江崎の町並み再生事業(手作り市場の開催、道の駅交流エリア拡大) ・地域資源活用交流事業(加工品開発、交流事業の展開)	8,000
	◎<新規>萩まちじゅう博物館銅像建立補助事業 久坂玄瑞の銅像建立事業費10,600千円の一部を補助するものです 事業費内訳：寄付金5,000千円、ワンコイントラスト2,800千円 市2,800千円	2,800
	◎旧萩藩校明倫館活用推進事業 旧明倫小学校駐車場への進入路となる市道八丁瓦町線の一部拡幅に伴う付帯工事費を計上するものです	31,000
	◎<新規>介護人材確保支援事業 介護分野の人材確保・育成のため、失業者に対して介護現場での就業機会を創出し、雇用の拡大を図ると共に、介護資格の取得を促進します	9,450
【衛生費】	◎<新規>働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業 ・子宮頸がん対象者：今年度21歳になる方(H21~24年度の期間に無料クーポン配布を受け未受診の方) ・乳がん対象者：今年度41歳になる方(H21~24年度の期間に無料クーポン配布を受け未受診の方)	8,146
【労働費】	◎<新規>就業促進支援事業 就労支援セミナー・就職説明会及びイベント開催、就職情報発信等の委託します	1,663
【商工費】	◎<新規>地域特産品づくり人材育成事業 6次産業化のための商工業事業者と農業従事者の連携支援のための委託します 事業主体：萩商工会議所	6,463
【教育費】	◎観光おもてなし人材育成事業 外国人等を主とした観光客への対応としての人材育成を行います	5,815
	◎大河ドラマ推進事業 大河ドラマ『花燃ゆ』プロジェクト推進協議会への負担金を計上するものです(ドラマ館の企画展示、チケット・パンフの作成等)	202,539
	◎<新規>私立学校施設整備費補助事業 学校法人萩光塩学院が実施する屋内運動場耐震化整備事業に対し、その一部の支援を行います	69,595
	◎<新規>生徒支援事業 生徒指導上の諸課題を福祉等の面からソーシャルワーカーにて解決し、生徒指導並びに教育体制の充実及び強化を図ります	937

# 議会改革に着手

議長からの諮問を受け、小林副議長を会長とし、24議員で構成する「議会の構成・運営に関する研究会」が設置されました。

今後は、議員定数や委員会の構成等を検討する「議会構成分科会」と、議会の規則や倫理等を検討する「議会運営分科会」に分かれ、それぞれの課題について、平成27年12月議会を目的に活発な議論を続けていきます。

各分科会のメンバーは次の通りです。

### ◇議会構成分科会◇

座長 齊藤 眞治

大久 勲・波多野 勝

平田 啓一・守永 忠世

関 伸久・森田 哲弘

柴田 保央・松尾 義人

佐々木武夫・宮内 欣二

諸岡 皓二

### ◇議会運営分科会◇

座長 棕 晶雄

大村 赳夫・小池 太一

長岡肇太郎・美原 喜大

西中 忍・石飛 孝道

西島 孝一・中野 伸

佐々木公恵・五十嵐仁美

松浦 俊生

## 請願第1号 萩市指定ごみ袋の値下げについて

本会議（6月25日）における審議の結果をお知らせします。

- ・請願者 萩市大字椿4160番地4 松本 隆
- ・紹介議員 五十嵐 仁美 議員
- ・請願要旨 萩市で使用されているごみ袋の代金を、県内他市なみに引き下げること。

この請願について討論を行ない採決の結果賛成少数により不採択と決しました。

反対

現在のごみ袋料金については、平成19年3月議会において審議し可決しています。請願ではごみ袋の料金のみに着目され、無料配布制度には一切触れられていません。

萩市の指定ごみ袋の無料配布は、市民の皆様に対してごみの減量化をお願いすると共に、ごみ処理にかかるコストやリサイクルに対する意識を高めていただくために、萩市が独自の廃棄物対策として取り組まれているものです。無料配布のごみ袋を加味すると、1枚当たりのごみ袋料金は、すでに県内他市並みとなっています。

また、1世帯当たりのごみ袋購入代金は、県下でも安価となっています。

萩市のごみの減量化は、さまざまな議論や市民の取り組みの結果、実現したものです。こうした経緯を重く受け止め、請願に反対します。

討論

この請願は、市民963人から出されたものです。萩市のごみ袋は1枚50円で、県内で一番高くなっています。このごみ袋の値段を下げてほしいという市民の願いは、まったく正当なものです。この願いに応えるのは、市民の声を市政に反映する民主的議会としては当然です。

家族の多い人や小さい子どものいる世帯、家族介護をしなければならない人を持つ人など、いくら努力をしても無料配布で収まらない人たちがいます。

請願者は、無料配布があることをわかっていながら、それでも高いという声を上げているわけです。

消費税が増税されるなど、庶民の暮らしが厳しい中、ごみ袋の値下げを求める声は切実です。

ぜひとも、新しい議会が市民の立場に寄りそう結論を出すことを求め、賛成討論とします。

賛成

新しい委員が  
決まりました

○人権擁護委員

久保田 満知子（くぼた まちこ）氏（椿）を推薦することに同意しました。

田万川  
地域



防災避難訓練

川上  
地域



ふれあいグラウンドゴルフ大会

萩  
地域



おしくらごう

須佐  
地域



須佐地域生涯学習発表会



むつみ  
地域



第14回むつみ少年剣道大会

旭  
地域



明木川 鮎放流



福栄  
地域



人権啓発運動

## 議員控室

も多数の議員が積極的に参加し市民の意見を聞いています。議長長意向による議会改革に向けた研究会も立ち上がり、定数問題も含め議論が始まりました。萩市が2040年「消滅可能性都市」に挙げられている中、「議会とは何か」「議員はどうあるべきか」をもう一度考え直し、出来ることから議論していく、新しい萩市議会にご期待ください。

小林 正史

新しい萩市議会  
東京都議会のセクハラヤジ発言が問題になっています。  
こういったことが地方議会の信頼を失うことにつながります。  
新しい萩市議会でもはじめてのヤジ問題が起きました。と言っても議員発言ではなく、傍聴席からの声によるものです。新人議員が紹介議員となり提出した請願の審査中、傍聴席からのヤジにより審議が中断されました。新人議員の一生懸命な議論に水を差された場面でした。議長裁量により再開されましたが、萩市議会では初めてのことでこれにより傍聴規則の変更も行なわれました。  
さて、今回の改選により多くの新人議員が誕生しましたが、そのほとんどの議員が一般質問に登壇し、堂々と持論を展開しました。また、現在まで行なわれた離島での市長タウンミーティングにも

## 編集後記

●表紙の説明  
今年度の議会だよりの表紙は、これから萩市の観光産業に好影響を与えると思われている事柄を取り上げていきたいと思っています。  
今回は、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の中心人物と、主人公「文」が久坂玄瑞と新婚生活を送った杉家です。

萩市議会は4月の選挙を受け、新たな26人でスタートしました。議会だより編集委員会のメンバーも一新され、これまで以上に「分かりやすく読みやすい紙面づくり」を目指して行きたいと思っています。

今後とも、議会だよりをご愛読いただきませうようお願い申し上げます。

議会だより編集委員会  
委員長 西中 忍  
副委員長 佐々木公恵  
委員 石飛 孝道  
大久 勲  
小池 太一  
小林 正史  
関 伸久  
美原 喜大  
森田 哲弘